



## 今月の特集 ■ 効率的に、快適に！

# キレイに暮らそう、 収納・掃除と 家づくり

せっかく新居に住むなら楽しみたい、  
収納の片づけや部屋の掃除。  
毎日の負担を減らす家づくりには、  
押さえておきたいポイントがあります。

### ■ 家事動線はできるだけ短く、 集中収納・分散収納を考えよう

休日に張り切ってピカピカにした家の中も、いつの間にか部屋には物が散らかり、片隅にホコリがたまってしまったり。掃除と収納は毎日の生活と切り離せない存在ですが、せっかく新居を建てるなら、負担を軽減して家族の時間を充実させたいものです。

まず押さえておきたい家づくりの基本に、家事動線の短縮があります。料理や洗濯などの家事を並行して処理する場面を想定し、キッチンやユーティリティなどをスムーズに連続させるとともに、収納計画や掃除用具をしまう場所をコンパクトに確保しましょう。動線が短ければ水回りの配管も短縮でき、建築コスト削減にもつながります。

また、収納を計画する際は、集中収納・分散収納のバランスが肝心です。前者では使用頻度が少ない季節の物や衣類、家電などの大きな物を余裕をもってしまっておけるスペースをたっぷりと。後者は玄関や廊下、リビング・ダイニングなどで物が必要となる場面を想定しながら、欲しい時にすぐ手が届く場所に配置しましょう。家族全員が使う洗面所や脱衣所は安全にも十分な配慮を。階段下などのデッドスペースや壁面など、プランニングの工夫次第で大きく差

が出るのも分散収納の特徴です。空間を隅々までムダなく使い切るよう、妥協せず検討を重ねましょう。

### ■ 掃除しやすいシンプルさ、 材質と換気も清潔さに

ホコリのたまっている場所に掃除用具が届かない、間取りが複雑で掃除が難しい...といったデメリットは、実際の手間はもちろん、心理的な負担も大きくなって部屋が散らかりがち。気がついたときにササッと掃除ができるよう、シンプルな間取りが理想です。吹抜は空間演出との兼ね合いを十分考えて判断を。特に意図のない場合はなるべく段差を減らし、凸凹の少ない屋内が良いでしょう。

汚れやホコリの付着は壁面の材質にも大きく左右されます。色や外見だけで安易に判断するのは禁物。場所ごとの用途に合わせてプロのアドバイスを尊重しましょう。

清潔な屋内を保つにはホコリの除去やカビの発生を抑制する温湿度の管理が欠かせません。「FPの家」では24時間計画換気で部屋の臭気やホコリ、滞留する水蒸気まで巡回させ、年中クリーンな環境を維持し続けます。

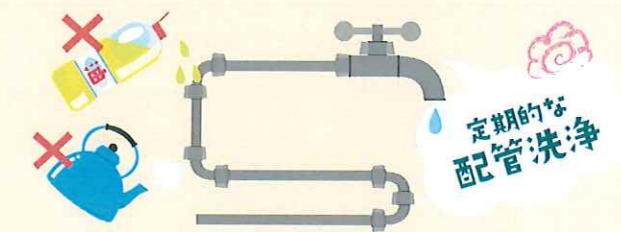
良く片づいた快適な暮らしは一見大変に思われますが、事前に行えることも少なくありません。家づくりの機会を最大限生かし、毎日の生活の質を向上させたいものです。



## 住まいの知恵袋

### 水回りの配管

キッチン・洗面所やトイレなど住宅設備に欠かせない配管は新居では長く使いたいもの。住宅の水道管の口径はかつては13mm、現在では20mmが主流で、二世帯住宅などでは25mmを選ぶこともあります。排水管の寿命は使い方の影響も大きく、キッチンに油や食べ物くずを流すと雑菌繁殖による詰まりの原因に。熱湯はそのまま流さず、変形や傷みを予防しまし



う。プロによる定期的な配管洗浄も長持ちにつながります。

配管リフォームの場合、新管と交換する更新工事、既存配管を生かす更生工事の2種類があります。後者では内部の凹凸を取り除いて塗膜で保護するライニング工法が代表的で、前者に比べてコストを抑えられます。



## できた！ DIY

### キッチンカウンター

リビング・ダイニングと生活感あるキッチン周りはちょっと雰囲気を変えて間仕切りしたいところ。丸見えでお困りなら、DIYでキッチンカウンターを作ってみてはいかがでしょうか。基本構造はカラーボックスをふたつ離して置き、その上に天板を渡すだけ。中央の空間も活用できて収納効率もアップします。

背面にはお好みで化粧板を貼ってみましょう。同じ長さ板材を

必要な幅だけ用意し、オイルステインなどで着色して貼りこんでいけばナチュラルな雰囲気に。天板には木材のほか、モザイクタイルを貼るとカフェのような演出にもなります。側面に小さな棚を設ければ小物なども。食器や調理器具がスッキリ収まれば、毎日が楽しくなりそうですね。



## おカネの 豆知識

### 移住・定住支援制度

各地の自治体では移住・定住促進を目的に補助制度が設けられています。新築や改築時の数十万円程度の補助金交付が一般的で、中心市街地への転入や三世帯同居が対象の制度も。一定期間以上の居住、建築時の地場業者への発注が条件となることもあり、いくつかの候補を比較検討すると良いでしょう。



## 暮らしの 1 POINT



### 半夏生(はんげしょう)

夏至から11日目を指す雑節で、今年は7月2日。この日は天候不順が多く、伝統的に夏至から半夏生までが田植え時期とされてきました。タコなど各地域の食べ物の風習も多く、野菜は食べてはいけないとも。半夏とは薬草のカラスビシャクの別名。毒草のカタシロクサは半化粧と呼び、両方の説があります。



## 教えて！ Dr. 住まいる



### スニーカーの汚れ落とし

爽やかな夏に似合う白いスニーカーは黄ばみが目立つのが難点。紐を外して中性洗剤とブラシでこすり洗いし、酸素系漂白剤を溶かしたぬるま湯に数時間つけ置きしましょう。黄ばみ予防にしっかりとすすぎ、陰干しはつま先に新聞紙を入れるとよく乾きます。靴底の汚れ落としには消しゴムを使うと便利です。